

氏名	浅贺 岳彦
所属・職位	理学部 教授
申請タイトル	量子研究の未来を切り拓く
申請目的	新潟大学における基礎科学の研究力を向上させるため、量子研究センターを中心に、研究の更なる推進と若手研究者育成を目指す。
申請内容	自身の研究を推進するとともに、量子研究センターの活動を通じて、新潟大学における量子に関連する基礎科学の研究力を発展させる。国際的な研究活動を活性化させる過程で、大学院生や若手教員のグローバルな研究力を育成し、今後の新潟大学の研究を牽引する人材を育てる。また、研究成果等を地域に幅広く発信する。
活動報告	今年度4月研究推進機構附置コア・ステーションとして、量子研究センター（通称 NU-Q）を発足し、本学の研究拠点構築に向けてスタートを切った。また、令和4年度大学変革プロジェクト経費「フラッグシップ研究支援事業」に採択され、活動を本格化させ、令和5年2月23日にはノーベル物理学賞受賞者である梶田先生ら来賓をお招きしキックオフシンポジウムを開催した。概ね、研究拠点化に向けて順調に進行していると考えている。

※上記の内容は、新潟大学教員活性化応援制度（チャレンジマイル制度）により令和4年度に申請及び活動報告された内容を記載しております。（申請期間：令和4年10月～11月，報告期間：令和4年11月～令和5年3月）